

## 第15回 春待ちチャリティ演芸会 10年間で総額約 100万円を町に寄付

4月10日、春の恒例イベントとなっている春待ちチャリティ演芸会が季の郷 湯ら里で行われました。今年も町内外から愛好者など総勢74名が37の演目を披露し、会場に詰めかけた多くのお客さんを楽しませてくれました。

また、春待ちチャリティ演芸会の収益金を只見町の社会福祉などに役立てて欲しいと、寄付金126,302円を会場で目黒町長代理五十嵐朝日振興センター長に手渡されました。寄付は今年で10回目となり、総額は100万円を超える多額なものとなりました。今まで携わっていただきました多くの皆様のご協力と、たくさんのご厚意に感謝申し上げます。

演芸会最後に事務局の赤塚ミワさんより、旧朝日村の歌「朝日村の歌(歌・小沼 昇さん)／朝日村民歌(歌・酒井 久さん)」のCDを作成したので、是非多くの方に聞いて頂きたいと挨拶がありました。歌える人が少なくなり、この素晴らしい歌詞や曲を後世に伝えたいという思いから、自然首都・只見 地域づくり交付金を活用し、CDの作成となったものです。CDは町内各振興センターにて10枚ずつ無料で配布されますので、是非ご利用下さい。



▲寄付金を手渡す演芸会事務局の赤塚ミワさん



▲多くの来場者の前で、華麗に踊りを披露しました。



◀完成した「朝日村の歌／朝日村民歌」のCD

### ▼真剣に聞き入る参加者



## 農家民泊講演会 受入ステップアップ講座開催

4月19日、季の郷・湯ら里にて、体験教育企画代表の藤澤安良先生による、農家民泊等体験型観光の受入ステップアップ講座が開催されました。

主な参加者は、只見町内で、中高生を中心に農家民泊受入を行っている簡易宿所登録の農家の方々や行政関係者など27名が参加しました。

講座では、全国の体験型観光の受入先を育成してきた藤澤先生の経験によるノウハウや、未来を担う子どもたちにとって、体験型観光が

いかに重要な役割を担っているかを熱く語られました。参加者は先生の豊かな経験や知識を真剣に聞いていました。

今年の10月28日～30日には、「全国ほんもの体験フォーラムin南会津」が開催されます。只見町内では29日に分科会が開催される予定です。ぜひ皆さんもご参加下さい。

## 只見町小川地区 小川いきいきサロン開講

4月24日、今年度1回目となり、9年目をむかえる「小川いきいきサロン」が小川集会所を会場に開催されました。

このサロンは、出歩く範囲が狭くなりがちな地域の75歳以上の高齢者や、65歳以上の一人暮らし高齢者を対象にしており、当日は関係者など含め約70名が参加されました。

当日は、実行委員長の目黒甚一郎さんや、小川区長の栗木豊さんなどから挨拶があり、その後、渡部栄和さん、目黒直也さん、増田美幸さんの3名によるライブが披露され「365日の紙飛行機」を歌いました。観客の皆さんは手拍子しながら聞き入り、大きな拍手が送られました。最後においしい料理を全員で食べて、地域の交流を深めました。



▲歌を聞き入る会場の皆さん

## 只見町農業講演会 高品質・多収穫農業のススメ

4月4日、季の郷湯ら里で㈱ジャパンバイオフィーム代表 小祝 政明氏を講師に、農業講演会が開催されました。

町内外から約80名が参加したこの講演会は、まず高品質・多収穫農業の意味として、高品質作物の需要、品質の数値化による優位・差別化、高単価より多収穫・販売増が利益につながるなど、消費者目線での農業の話があり、後半は、具体的な方法として、酵母菌を使った土づくり「菌耕」や植物生理を利用した高品質作物育成のしくみ、植物生育の必須要素など化学式を用いた体系的な説明がありました。

最後に、参加者を交えた活発な質疑応答があり、より良い農業に向けたヒントを得ようと熱心に聞き入る姿が多くありました。



▲熱心に聞き入る参加者



▲朝日保育所の入所式の様子

## 町内3地区の保育所で入所式 かわいいお友だちが新たに入所

町内の各保育所で4月5日に入所式が行われました。只見保育所では4名、朝日保育所では7名、明和保育所では6名のお友だちが新たに入所しました。

式では新しい入所児をみんなでお祝いするとともに、最後には職員による演劇が行われ、親子で楽しく過ごしました。保育所では元気いっぱいにお友だちと遊んで下さい。ご入所おめでとうございます。(平成28年度入所児童数 只見保育所24名、朝日保育所32名、明和保育所35名)

## 第1回古文書講座を開催 古文書の解読にチャレンジ

古文書解読講座が4月13日朝日振興センターで開催されました。会津若松市在住の芳賀幸雄先生を講師にお迎えして、11名の参加者が古文書の解読にチャレンジしました。講座では、古文書を先生が分かりやすく解説し、参加者一同で声にだして訳文を読み上げていました。古文書講座は年度内に全8回予定しており、途中からの参加も可能です。古文書にふれたい方は是非ご参加下さい。

《教育委員会生涯学習係 82-5320》



▲古文書の解読にチャレンジする参加者



▲ちょボラごみ拾い参加者の皆さんで記念撮影

## ゴミの無い町づくり推進活動 朝日地区 ちょボラごみ拾い

4月17日、朝日振興センター・運営委員会などが主催したちょボラごみ拾いには、大人から子どもまで約30名の方が参加され、朝日地区の国道や県道沿いのごみ拾いを行いました。

今回のちょボラごみ拾いで集めたごみの量は、燃えるごみ袋で42袋、燃えないごみ袋で21袋となりました。秋にもちょボラごみ拾いが予定されておりますので、只見町の美しい景観の為に是非ご参加下さい。